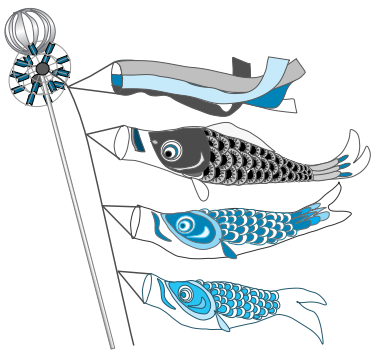
一般質問

一般質問の模様はホームページで録画映像を配信

今回の定例会では、3月5日、6日、9日から11日の5日間にわたり、32名の議員が市政を取り巻く諸問題について、意見・提案をまじえながら、市長などの考えをただしました。

質問、答弁の要旨は次のとおりです。



防災／乳幼児の在宅子育て支援

松岡みゆき（自由民主党）

問 災害発生時は市民の人命救助第一だが、そのために指導力と技術を持つ退職自衛官を危機管理監におくべきだ。

防災安全担当部長 平時における期待される業務等を整理して、その必要性について研究していきたい。

問 母親が家庭で安心して乳幼児の子育てに専念できるよう、仕組みづくりを求める。

子ども生活部長 育児不安を抱えて孤立する方をなくしたい、気軽に相談に来てほしいと考えてマイ保育園を始めています。いろいろもっと気軽に相談ができ、話ができる仕組みを地域と協力して考えていきたい。

問 放課後子どもが安全に過ごせるように学童保育の4・5・6年生への対象拡大を。

子ども生活部長 児童数の推移や施設の状況を見ながら検討していきたい。

鶴川地域に、更なる活力を！

森本せいや（まちだ市民クラブ）

問 鶴川地域の生活環境の改善に資する、北口駅前広場の拡張及び南口開発の進捗は。

都市整備担当部長 南口は、地域特性に応じた整備計画の検討を地権者と進めます。

市長 小田急電鉄の合意をとるということに全力を挙げていきたい。

問 障がいのある乳幼児を、受け入れる保育園等に対する、加配制度の改善や各種施設との相談事業を推進するべきだ。

子ども生活部長 加配補助金は少し改善の余地はあるかと考えています。15年度からはこれまでより広げて訪問支援を行う予定です。

問 アレルギー対応給食の取り組みを、ソフト・ハード両面において促進するべきだ。

学校教育部長 アレルギーにつきましては十分な手引、その他で十分連絡をして仕事を進めて行きたいと思います。

認知症施策・環境施策について

佐藤和彦（まちだ市民クラブ）

問 若年性認知症の方の居場所づくりをどうしていくのか。

いきいき健康部長 4月以降ですが、認知症カフェを1カ所、設置を計画しています。

問 認知症初期段階の方の意見を把握して早期治療につなげるために医療との連携をどのようにしていくのか。

いきいき健康部長 町田・安心して暮らせるまちづくりプロジェクト推進協議会を通じ連携を強化するとともに、各地域で地域ケア会議の開催を行っています。今後、市内全ての地域で医療、介護の連携と課題の共有、支援体制の構築を進めているところです。

問 家庭用燃料電池の補助金制度を設けるべきと考えるがどうか。

環境資源部長 省エネ機器等の導入促進について有効な補助方法を検討していきたい。

私道の課税のあり方について

石川好忠（自由民主党）

問 私道の課税のあり方に関する見解はどうか。どのようにすれば非課税になるか。

税務担当部長 私道であっても地方税法第348条第2項第5号に規定する公共の用に供する道路に該当する場合は、固定資産税及び都市計画税は非課税になります。市税条例に基づき市に申告をしていただく必要があります。

問 「インターネット犯罪について」

インターネット犯罪も時代とともに変わっていくと思いますが、現状での対策はどうか。今後の取り組みは、どのように考えているのか。

教育長 教員への研修及び保護者への啓発を中心に行っています。使う時間や使い方のルールをつくることを啓発していくために、5月に「家庭学習の手引」を全保護者に配付いたします。

国際化を図る大学との連携を

山下てつや（公明党）

問 スーパーグローバル大学等事業など、国際化を図る大学との連携の可能性は。

政策経営部長 どのような具体的な取り組みが可能かは、そのような大学とも協議して研究していきたい。

問 土砂災害警戒区域に指定された病院や福祉施設の避難体制確保と課題は。

防災安全担当部長 福祉施設、学校、医療施設等の管理者には、施設を利用している方に対し円滑かつ迅速な避難を確保する必要があります。施設管理者や東京都など関係機関とどのような対策がとれるのか、今後研究していきたい。

問 水素ステーションの設置と燃料電池車の導入可能性は。

髙橋副市長 水素ステーションと水素自動車のことは総合的に考えていきたい。

日本語教育が必要な子ども支援

わたべ真実（まちだ市民クラブ）

問 外国人等、日本語教育が必要な児童生徒の支援状況はどうなっているか。会話だけでなく授業を理解できるようになるためには、現在の体制では十分でないと考えるが、いかがか。

学校教育部長 日本語指導をしっかり行っていくとともに、教科の学習支援については、日本語教育を行った上で学級担任や教科担当者による放課後の補充学習等で支援を進めていきたい。

問 （仮称）心の病の相談先となる機関と対応の状況はどうなっているか。

地域保健担当部長 精神保健福祉相談を保健所が実施しています。ご本人、ご家族、いずれの対応についても精神保健福祉センター、福祉事務所、社会復帰施設等関係機関とも連携をとりながら細やかな支援を実施しています。

子育て中の保護者のサポートを

池川友一（日本共産党）

問 地域子育て相談センターの体制の拡充、他施策との連携強化が必要だがどうか。

子ども生活部長 専門職としての力がより発揮され、これまで以上に複雑な相談にも的確に対応できるようにします。関係機関ともさまざまな分野で連携強化を進めたい。

問 野津田公園の拡張エリアは、地権者の意見を尊重し強制収用はすべきでないと考えるがどうか。

都市づくり部長 農業委員会のほうも含めて、あるいは都市計画決定の際には地権者の意向を伺って了解を得てから手続に入っていきます。

問 上の原原っぱの駐車場整備のやり方は間違いだったと思うが改めて問う。

都市づくり部長 いつからやると伝える前に工事業者が着工してしまった。その点に不備があったと思います。

学力向上施策／大規模災害対応

新井克尚（保守連合）

問 学力向上の取り組みについて、私が平成18年より提案してきた内容はどこまで反映されているか問う。

教育長 学力向上施策の成果につきまして、知識、考える力を問う問題の正答率が上がり、無回答率も減少した調査結果報告があり、また、個別指導を通し、授業で意欲的に取り組むようになったという声も上がっています。

問 噴火を想定すると災害時協定を締結している自治体は全て被災地となる。別の自治体と締結してはどうか。

防災安全担当部長 被害を受けていない可能性が高く、迅速な対応が相互に期待できる範囲で検討したい。

問 物的支援活動で、JCと協定を締結すべきだが。

髙橋副市長 今後、情報共有をした上で関係づくりについて検討していきたい。

忠生地域まちづくりを推進せよ

若林章喜（自由民主党）

問 リサイクル文化センター周辺まちづくり協議会の作成した「忠生地域バリューアッププラン」を基に、忠生地域のまちづくりに取り組んではどうか。

市長 バリューアッププランをすり合わせて事業計画に反映するように検討を行い、町田リサイクル文化センター周辺まちづくり協議会と市の資源循環型施設整備推進本部と協働で周辺のまちづくりを進めてまいりたいと考えています。

問 多摩都市モノレールの建設促進に向け、多摩地域全域で連携し取り組むべきだがどうか。

有金副市長 多摩地域都市モノレール等建設促進協議会や多摩市と密に連携を図り、一日も早く延伸が実現できるように努めていきたいと考えています。

行政経営改革の先進的取組とは

おく栄一（公明党）

問 財務分析で明確になった課題をどのように先進的な取り組みに反映するのか。

市長 仕事目標や月次報告などの目標に反映させ、組織、事業におけるマネジメントで活用いたしてまいります。さらに、予算編成、職員の定数管理など全体のマネジメントにも活用し、全国の自治体の規範となる先進的な取り組みを進めてまいります。

問 地域活性化、市民協働の広がりを「クラウドファンディング」という、小さな資金提供による新手法の仕組みを用いてはどうか。

市長 民間が民間から資金を集めて仕事をすることは大変すばらしいことで、私ども も検討させていただきたい。

問 ペアレントメンター養成を町田市で始めてはどうか。

地域福祉部長 今後研究していきます。